熊本地震に伴う一般建築物及び歴史的建造物の被災状況の調査について

（案）

１　目　的

　　　平成28年4月14日(前震)及び4月16日(本震)に起こった震度7の熊本地震は、建築物等に大きな被害をもたらした。被災から3ヶ月が経過した現在、被災建築物応急危険度判定、被災宅地危険度調査、家屋被害認定調査の行政による一連の調査が終わり、文化庁による指定文化財の文化財ドクター調査が進められている。一方で公費解体が行われていると同時に、被災したRC造・S造の建築物や木造民家など手付かずの建築物が数多く存在し、被災の重さを示している。

このような被災後の実態、復旧・復興に向けた状況を肌で感じるとともに、今後起こると予想されている東海大地震への対策に生かしていくため、被災した建築物の状況及び被災後3ヶ月の被災地の現況を調査する。

２　日　程　　平成28年8月25日（木）26日（金）27日（土）の2泊3日

３　調査者　　東部・中部・西部ブロックから各2名＋副会長＋景観整備機構副代表　計8名

４　スケジュール案

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 1日目：8月25日（木） | 2日目：8月26日（金） | 3日目：8月27日（土） |
| 7:27 三島発こだま7:41 新富士発7:52 静岡着　　　　こだま8:11 静岡発ひかり　8:12 掛川発8:37 浜松発　　　　8:27浜松着9:09 名古屋着9:14 名古屋発のぞみ（昼食は車内）12:40 博多着12:51 博多発つばめ13:45 熊本着14:00 ホテルチェックイン14:15 熊本市古町歴史的建造物の被災状況・解体状況調査15:30 レクチャー「熊本地震の特徴及び被災から現在までの経過、復旧・復興の現状」＊17:00 熊本市中心市街地被災建築物等の調査18:30 ホテル着 | 8:30 ホテル発8:45 熊本駅前ニッポンレンタカー　　　　9:00 熊本市、益城町、西原村等の被災建築物等の調査　　　　　（昼食）18:00 熊本駅前ニッポンレンタカー18:30 ホテル着 | 8:30 ホテルチェックアウト8:45 熊本駅前ニッポンレンタカー9:00 熊本市、益城町、西原村等の被災建築物等の調査12:00熊本駅前ニッポンレンタカー　　　　　（昼食）13:08 熊本発つばめ13:59 博多着14:04 博多発のぞみ16:21 新神戸着16:25 新神戸発ひかり18:05 浜松着　　18:20 こだま18:32 静岡着　　18:32 掛川　　　　　　　　19:09 新富士19:20 三島着 |

５　概算経費　　合計 670,000円（8名参加）

　　三島発　行き：三島→熊本　23,950円（運賃14,010円＋自由席特急7,460円＋2,480円）

　　　　　　帰り：熊本→三島　23,950円（運賃14,010円＋自由席特急2,480円＋7,460円）

　　浜松発　行き：浜松→熊本　22,540円（運賃13,150円＋自由席特急6,910円＋2,480円）

　　　　　　帰り：熊本→浜松　22,540円（運賃13,150円＋自由席特急2,480円＋6,910円）

　　交通費　24,000円×8名×2回＝384,000円

指定席（のぞみ、ひかり）500円×8名×2回+1,200円×8名×2回＝27,200円

宿泊費　10,000円×2泊×8名＝160,000円

　　レンタカー2日目：被災状況調査　カー10,370円＋GAS1,000円＝11,370円

　　レンタカー3日目：被災状況調査　カー 8,960円＋GAS1,000円＝ 9,960円

　　　レクチャー等に係る経費（説明者謝礼 10,000円＋会場費 10,000円）＝20,000円

　　　会議費　　3,000円×8名＝24,000円

　　　予備費（保険料含む） 　　33,470円

　　　※　１名あたり費用83,750円（但し、視察後の報告書等作成費用は入っていません。）

６　内　容

　　＊レクチャー「熊本地震の特徴及び被災から現在までの経過、復旧・復興の現状」

　　　　説明者：豊永信博氏　日本建築士会連合会まちづくり委員会 前委員長

　　　　　　　　　　　　　　元熊本市職員、現在(株)南栄開発 顧問

　　＊1日目：熊本市内被災建築物等の調査（市電及び徒歩による調査）

・・・熊本市中心市街地の被災建築物、歴史的街区の歴史的建造物の被災状況・解体状況

　　2日目

　　　・・・上益城郡益城町、阿蘇郡西原村の被災建築物の状況

　　3日目

　　　・・・上益城郡益城町、阿蘇郡西原村の被災建築物の状況

＊調査のまとめ方

1. 建築物全般について、被災状況及び、その特徴
2. 熊本市、上益城郡益城町、阿蘇郡西原村の被災建築物の状況
3. RC造、S造、木造、及び歴史的建造物の被災の状況
4. 液状化の状況、擁壁・石垣等構築物の被災の状況
5. 被災建築物の解体等復旧・復興の状況

以上